

講習会開催記録

タイトル	土木計画学講習会「利用者均衡配分の実務適用に向けて」	
開催日時	東京会場 平成16年 10月26日(火) 大阪会場 平成16年 11月 2日(火)	10:00～17:20
開催場所	東京会場 野口英世記念館 大阪会場 大阪新梅田研修センター	
実施組織 (研究小委員会名など)	土木学会(担当:交通需要予測技術検討小委員会)	
参加者数	総参加者数 247名	
	内訳: ・大学関係者(12名) ・行政関係者(118名) ・実務者(コンサルタント等) (101名)	・マスコミ(名) ・学生(名) ・その他(16名)
概要	近年の道路事業に対する客観性、透明性の向上に関する要請に対応するため、本学会は、「交通需要予測技術検討小委員会」を設置し、調査研究を重ねてきた。平成15年8月には、その成果として、利用者均衡配分の適用を中心に構成した「道路交通需要予測の理論と適用 第I編 利用者均衡配分の適用に向けて」が出版されたところである。 本講習会では、時代が要請する利用者均衡配分を実際の実務に適用し、広めていくことをねらいに、利用者均衡配分の特徴や従来手法との違いを踏まえつつ、実際の適用方法やその際の課題について講習する。 本講習会のプログラムは以下の通りである。 ※. 東京会場, 大阪会場ともに同じ内容 10:00～ 開会挨拶 10:15～11:00 交通需要予測の考え方と役割 毛利雄一(IBS) 11:00～12:00 配分モデルの経緯と展望 朝倉康夫(神戸大学) 12:00～13:30 昼食・休憩 13:30～14:20 利用者均衡配分の理論と特徴 圓山琢也(東京大学) 14:30～14:55 利用者均衡配分の計算手順 安田幸司(システム科学研究所) 14:55～15:20 利用者均衡配分の適用手順, 実務適用上の課題と対応方針 李 竜煥(都市交通計画研究所) 15:20～15:40 コーヒーブレイク 15:40～16:10 転換率内生化利用者均衡配分モデルの理論と適用 井上紳一(IBS) 16:10～16:40 利用者均衡配分Q&A(実務者の疑問に回答, セミナー内容の復習) 森尾淳(IBS) 16:50～17:20 質疑応答 司会:高橋勝美(IBS) 17:20 閉会	
総括	利用者均衡配分の理論や特徴, 従来手法との違い, 実際の適用方法について講習するとともに, 質疑応答の時間においては, 実務適用上の課題等について会場の参加者から質問が寄せられ, 活発に討議を行った。本講習会を実施したことにより, 国内の交通需要予測技術者の技術水準の向上に貢献することができたと考える。また, 質疑応答の結果, 利用者均衡配分を実務に適用する上での課題について再確認することができた。	